

# 1千kmを越えて旅する蝶「アサギマダラ」



アサギマダラは、はねを開くと10センチくらいのも、比較的大型の蝶です。はねの色は、浅葱色（あさぎいろ）と呼ばれる淡い水色に透きとおる部分が、黒と栗色で縁取られ、まだら模様になっています。ふわりふわりと優美な飛び方をする美しい蝶です。

また、アサギマダラは、海を越え、日本列島を縦断し、1千km以上の長距離移動をする蝶として知られています。春には九州の奄美大島などの南の島から北上移動してきて、本州から北海道の涼しい高原で夏を過ごし、秋には遠く九州、沖縄、台湾、香港まで南下移動していくことが、日本各地で行われているマーキング調査の結果からわかってきました。

東海市で10月にマーキングしたアサギマダラが、南へ移動して、11月に約1,000 km離れた鹿児島県喜界島に移動して再捕獲されました。